

脳の仕組みの違い

Difference in brain structure



地図のない富士山の頂上を目指して

正社員・従業員

経営者

脳の仕組みの違い



地図のない
富士山の頂上を目指して

正社員・従業員と、経営者。
脳の仕組みは、どこが違うのか。

私たちは、当たり前のように日常を過ごしています。会社へ通い、
任された仕事をやり遂げる。それが、日々の「仕事」になっています。

もし、嫌なことがあれば、
その場で声を上げることもできる。
合わなければ、辞めるという選択肢もある。

今の社会は、
それが比較的「容易」にできる時代になりました。

だからこそ、
世間には常に「賛否両論」が存在し、
判断は、以前よりもずっと難しくなっています。

未経験や初心者は、
まず段取りを覚えることから始めます。
それは、技術を磨くために
最初の一歩を踏み出す行為でもあります。

一方で、
経営者という立場に立つ人はどうでしょうか。

企業を持つ人は、
睡眠を削りながら、

資金、人、責任、未来
あらゆる方向に気を配り、
日々、神経と体力を消耗しています。

外から見れば、
「口で言う」ことは簡単に見えるかもしれませんが。

しかし、
たった一人で、
何もないところから
事業を立ち上げるとしたら

その瞬間、
言葉は急に重くなり、
簡単には動けなくなります。

なぜでしょうか。

それは、
「人」という存在の重みを、
身をもって理解するからではないでしょうか。

経営者は、
誰よりも痛みや苦悩を知っています。

それは、
失敗や成功を横に置いたとしても、
間違いなく「尊い経験」です。

夢を見ること。
夢を持つこと。

それは、
決してバカなことではありません。
たとえ小さくても、
それは確かな「価値」です。

ビジネスという言葉の中には、
本来、「貢献する」という意味が含まれています。

経営者は、
日々、仕事をやり遂げる社員や従業員よりも、
実は、ずっと深い場所で悩んでいます。

社員や従業員に対して、
「分かってほしい」と思う気持ちがあっても、
それを公にせず、胸の奥にしまっていることも多い。

一方で、
社員や従業員が勇気を出して出したアイデアが、
審査、面談、ミーティングを経て、
厳しい目で見られ、「却下される」こともあります。

その経験が重なることで、
自ら前に進めなくなってしまう人もいる。

それでも経営者も、社員も、従業員も、

それぞれの立場で、
前へ進もうとしています。

ここまで読み進めたあなたは、
すでに気づいているかもしれません。

この文章の中に、
「賛」と「否」両方の視点が存在していることに。

ビジネスの世界に、絶対的な正解や不正解、
正しい・間違いといった答えは、実は存在しません。

経営者と、社員・従業員の違いは、脳の構造そのものというより、
背負っている世界の違いなのです。

気持ちで表現するなら、
こんなイメージに近いかもしれません。

「地図を持たずに、 富士山の頂上を目指して進む世界」

だからこそ、お互いに腹を割り、感情に流されるのではなく、

「どこへ向かうのか」という一点を明確にし、その点に、
皆の視線を集め、一本の線を引いて進んでいく。

そんな行進ができたなら、
組織は、きっと違う景色を見るはずです。

END

ビジネスとは、
「届けたい想い」を正直な形にすること。

その形が「選びやすさ」となり、
やがて信頼と感謝の循環を生み出していきます。

ここまでご拝読いただき、ありがとうございました。

代表取締役 向井智仁

<https://walkwith-code.jp>



Click!